



崎山小児科・院内報

Okero Kero通信

1月

2019年

第238号



教育委員を終えて

平成30年12月21日に崎山は3期12年間にわたる府中市教育委員の任期を終了しました。教育委員は成長する子どもたちの様々な場面で関わることがあり、小児科医としてとても貴重で有意義な経験をさせてもらいました。

学校を建設して備品を揃え、教科書を用意して子ども達を受け入れて学校を運営する。公立小中学校の管理と運営は各市区町村の行政としての仕事です。一般的に行政の方向性は市長や市議会が決定します。その市長や市議会議員はそれぞれの主義主張を掲げて選挙に臨み、当選すればその公約を政策として実現させるように努力するわけですが、市立小中学校の教育が選挙結果によって短期間のうちに変更されるようでは、教育を受ける子どもたちも学校の先生方も混乱し、落ち着いて教育に取り組むこともできません。

府中市教育委員会に課せられた使命は、政治的に中立で、安定した継続性を持ち、地域住民の意向を反映した府中市の教育行政を実現することです。府中市長や市議会から独立した執行機関として、教育長と4人の教育委員が協議して、政治家や役人ではない素人が教育施作について議決、承認をすることに意味があるわけです。学校教育だけでなく、多くの子ども達がお世話になる図書館や美術館、郷土の森博物館などの文化施設、成人式などの文化的行事、市民体育大会などのスポーツ関係も教育委員会事業の範疇です。教育委員になってわかったことは、学校の運営や子どもに関わる市の行事には保護者の目の届かないところで多くの関係者が深く関わっているということです。

試合で結果を出すことが本業のプロスポーツ選手は、練習風景を見せることはありません。放課後に教材研究など行う学校の先生方、アレルギー対応の調理手順を作成する給食センターの栄養士や調理師さん、様々な企画を立てる美術館や図書館などの職員、学校行事の運営や校舎の管理を支援する市役所の教育委員会事務局の職員など、子どもたちの学校生活や課外活動が成り立つ準備に相当な労力が使われているのです。

私の任期であった12年間で行政に対する市民の要望が増えている印象があります。保護者が子どものことについて親ばかりになって100%我が子の味方になること自体は全く問題ありませんが、保護者からの視点は社会の中で子どもが生きている姿を捉えるにあたりごく一部しか見えていないことも理解しておくべきでしょう。

こんなときどうすれば...?

風邪の季節がやってきました。診察室やお電話の問い合わせでよく聞かれることをいくつかまとめてみます。参考にしてください。

「解熱剤は38.0以上で使用したらいいですか？」

何度以上で使用しようという決まりはありません。熱が高くても食欲や生活の様子が普段と変わらない場合は使わなくてもかまいません。逆に少しの熱や頭痛や喉の痛みでも不機嫌に泣いていたり、辛そうにしている場合は使用してもよいでしょう。鎮痛・解熱剤は8時間あけて1日3回まで使用可です。辛くてどうしようもないときは6時間でも使用可です。その際も1日3回までの使用にしてください。

「解熱剤を使用したのですが熱さがありません。受診したほうがいいですか？」

病気の勢いがあるときは解熱剤を使用しても熱が下がりにくいことがあります。解熱剤を使用して少しでも熱が下がったときに水分を摂取したり、食事を摂らせて様子を見てあげてください。

気になる様子がありましたら、いつでもご相談ください。

「熱がありますがお風呂に入ってもいいですか？」

ぐったりしていて、辛そうでしたら無理にいれることはありません。基本的に熱があるときでもお風呂に入ってもかまいませんが、短い時間で入浴を終え、入浴後はよく拭いてください。

「咳・鼻水だけなのですが受診したほうがいいですか？」

食欲があり、夜もよく眠れて機嫌よく過ごしていて悪化する様子がなければ様子を見てもらってもいいと思います。咳をする病気の中には喘息などのように薬を使ったほうがいい場合もありますので気になるときは受診してください。

「ずっと咳や鼻水が出ていて予防接種が受けられません」

咳や鼻水があっても症状が数日安定していればおそらく受けられます。接種当日に診察しますので受診してご相談ください。熱が出てしまったら、1週間程度は様子を見てからのほうがよいでしょう。

大切なお子さんが辛そうにしていたら、すごく心配ですね。家で心配なときはいつでも受診してください。

崎山先生当番日 『府中市市民保健センター』

1/19(土) 夜間診療 (19:30~22:00)

今月のケロケロひろば 1月24日(木) 待合室 14:00~16:00 ・十二支のペープサート など

